

# 広報くじ

2011  
月1日号  
No.118

1月9日、目を輝かせて成人式を迎えた皆さん。新成人としての抱負を聞きました。  
(関連記事 209)

## 新成人の抱負!!

平成二十二年  
祝久慈市成人式  
平成二十三年一月九日



→日影麻衣さん、添田菊美さん、大沢みずきさん (左から)

高級車  
に乗りたーい!



→外館美奈子さん、下館紀子さん (左から)

「今」を  
一生懸命  
生きる!



久慈を  
活性化  
させるぞ!!



→前/大森亮介さん、中田晋輔さん、中田諒大さん、石宇拓さん  
後/川代歩さん、工藤弘樹さん、生平直さん (左から)

小久慈を  
盛り上げ  
たい!



→前/天麻智喜さん、下道雄太さん、小澤俊一郎さん  
後/三角智博さん、田子内隆さん、上村雅貴さん (左から)

目指せ! 年収  
1千万円!!

ダンナより  
稼ぐ!!



→田森亜耶乃さん、佐々木愛里さん、大上益弘さん、鳥谷恵美さん (左から)

アイドルと  
結婚したい!



←大上利生さん、吉田健祥さん、乳井輝さん、水堀邦彦さん、田中洸勇さん、久慈哲士さん (左から)

←嵯峨桃子さん、佐々木麻洋さん、澤里莉央さん、落合干澁さん (左から)



好奇心を抱き、海を渡った18人の中高生。文化、歴史、人に触れたアメリカで、生徒たちは感動の体験を心に刻み、かけがえのない経験を手にしました（5名まで）

昨年8月まで本市英語指導助手を務めたアナ・シースさん（後列左から2人目）もホストファミリー。フランクリン市での歓迎レセプションで温かい歓迎を受け、生徒は感動の笑顔



### 好奇心に高い意欲

アメリカで異なる文化や歴史、英語などを学ぶ平成22年度久慈市中高生海外派遣研修は1月7日から18日まで12日間の日程で行われました。

昨年度は、全国で猛威をふるった新型インフルエンザの影響で中止。今回の研修には、昨年度参加予定だった生徒を含む中高生18人と団長・引率3人の計21人が参加しました。生徒は10月から英語やアメリカの生活習慣などを事前に学習。期待と少しの不安を胸に、熱心に準備を整えました。

1月6日、市役所で開かれた結団式には好奇心で目を輝かせた生徒が勢ぞろい。山内隆文市長などから激励を受け、「行ってきます！」と大きな声で高い意欲を示しました。

### 見聞広め 心通わす

派遣団の出発は7日早朝。成田空港から飛行機で11時間掛けアメリカに向かいました。はじめに訪れたワシントンDCでは、ホワイトハウスや国会議事堂のほか、アメリカの歴史や文化を学ぶため各種

博物館で研修。次に訪問したデトロイトでも研修を重ね、生徒は見聞を広めました。

12日には、昨年、姉妹都市締結50周年を迎えたフランクリン市へ。歓迎レセプションでは、フレッド・パリス市長やホームステイ先の家族など約100人から熱烈な歓迎を受けました。13日と14日は市内の学校で現地学生と机を並べて学習。12日から5日間にわたるホームステイでは、家族と心を通わせ、別れを惜しみながら帰路につきました。

### 経験手に 表情充実

1月18日、市役所で到着式。家族や教職員などが、生徒を大きな拍手で迎えました。

山内市長は「元気に帰ってきてくれたことを多くの人に伝えてください」とあいさつ。前を見据え、充実した表情を浮かべる生徒たちは、一回り成長したように感じられました。好奇心を抱いて踏み出した海外研修。アメリカでの感動の体験を心に深く刻んだ生徒たちは、かけがえのない経験を手にしました。

踏み出させたのは好奇心

# 心刻んだ 感動体験



1/地図を指差し、学校の位置などを確認。積極的に交流を図りました  
2/学生と英語で会話。事前研修など勉強の成果を発揮しました  
3/自分で操作し、飛行機の搭乗券を発売。生活すべてが貴重な経験です  
4/フランクリン市での歓迎レセプション。生徒にフレッド・パリス市長が歓迎の記念品を手渡し  
5/学生と楽しくランチ。すっかり仲良しです



姉妹都市「久慈市」の研修訪問は、フランクリン市の新聞「デーリージャーナル」の一面に

Schedule 主な日程	
1/6	市役所で結団式
1/7	移動（米国入国）
1/8-9	ワシントンで市内研修
1/10	移動
1/11	デトロイトで市内研修
1/12	フランクリン市で市長表敬訪問／歓迎レセプション／ホームステイ（16日まで4泊5日）
1/13-14	フランクリン市内の高校・中学校で語学研修
1/15	終日、ホストファミリーと交流
1/16	移動（米国出国）
1/17	移動（日本帰国）
1/18	市役所で到着式

# 一生、忘れられない 充実の研修

Impressions ~派遣団員の感想~

## 夢かなえ、また会いたい 久保知里さん(夏井中2年)



すべてが新鮮で、あっという間の毎日。中でもホームステイは心に深く残っています。将来、夢がかなない教師になれたとき、大切なことを教えてくれた現地の方々に、また会いたいです。

## 学んだことを生活に 菅原悠希さん(待浜中3年)



とても充実した研修をすることができました。特にホームステイでは家族や学校の人たちと仲良くなり、たくさん思い出ができました。今回、学んだことを生活に生かしていきたいです。

## 人のつながりは深い 大澤萌香さん(宇部中3年)



1番の思い出はホームステイです。よく分からない土地に行くのは、とても不安でしたが、別れ際はとても悲しかったです。人と人とのつながりは、とても深いものだと感じました。

## 今後も絆の深まりを 木下智陽くん(久慈高2年)



修学旅行に負けない思い出。多くを学べ、本当に楽しかったです。今後も久慈市とフランクリンの絆が深まることを願っています。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

## 学んだことを将来の久慈に 杉下 淳先生(長内中)



皆、事前学習の成果を現地で発揮。研修を通し、成長しているのが分かりました。久慈市の代表として参加した生徒たち。今回学んだことを将来、久慈に返してくれることを期待します。

## 積極性と親切さ手本に 小林奈帆さん(夏井中2年)



アメリカの方のフレンドリーさ、親切さに感動！フランクリン市の皆さんとも、たくさん交流できうれしかったです。今後アメリカの積極性や親切さを手本として生活していきたいです！

## いつまでも忘れずに 久慈絃介くん(待浜中3年)



研修を通して、学校の様子の違いなど、アメリカの文化を深く知ることができました。一番の思い出は、ホームステイ先での交流です。この貴重な体験をいつまでも忘れずにいたいです。

## 「ありがとう」忘れません 二ツ神珠乃さん(山形中2年)



ホームステイ先の家族は、何度も「Thank you」と言っていました。これからは、どんなささいなことでも「ありがとう」と言って、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

## 再びフランクリン市へ 上山日和さん(久慈東高2年)



「外国の食文化を学ぶ」というテーマのもと、食事をし、現地の人に話を聞き、たくさんのことを発見しました。もっと英語を学び、再びフランクリン市を訪れて思い出話したいです！

## どう生かされるか楽しみ 野坂友美先生(山根中)



フランクリン市でのホームステイや学校訪問は本事業だから経験できるもの。生徒にとって思い出深い経験になったのでは。生徒の心に刻まれた経験が、どう生かされるのか楽しみです。

## 生徒にとって大きな糧に 鹿糠沢光男団長(総務学事課長)



特に現地の学校では、皆生き生きと研修に励んでいました。生徒にとって今後の大きな糧になったことでしょう。研修で感じてきたことを周りの多くの人に伝えていってほしいですね。

## 多くのコミュニケーション 佐々木裕佳さん(久慈中2年)



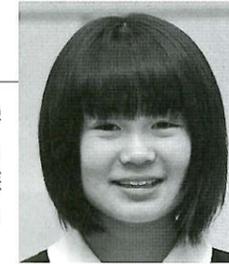
「文化の違いを見つける」をテーマに研修。英語が聞き取れず、悔しい思いもしましたが、紙に書くなどしてコミュニケーションをたくさんとりました。多くのことが経験でき良かったです。

## 人とのつながりが持てた 川又康了くん(久慈中3年)



研修で、さまざまな人とのつながりが持てたと思います。ホームステイ先の家族はもちろん、ともに過ごした仲間とも多くのことを学ぶことができました。またアメリカに行きたいです！

## 本当の家族のように 清水菜央さん(長内中2年)



文化の違い以外にも大切なことを学べ、とても充実した研修になりました。わたしを楽しませようと、本当の家族のように接してくれたホストファミリーの方々には感謝でいっぱいです！

## 戸惑いを乗り越えて 小室 好さん(長内中3年)



文化の違いを知り、現地の方々と交流を深められました。言葉や生活の違いに戸惑うこともありましたが、それを乗り越えて、楽しく意味ある研修ができました。ありがとうございました。

## 研修で友達がたくさん 坂下伶菜さん(大川目中2年)



アメリカと日本の学校の違いを知ることができ、研修先の中学校では、友達もたくさんできました。ホームステイでも仲良く過ごすことができ良かったです。ありがとうございました！

## もっと英語の勉強を 星川陽一くん(久慈中2年)



一番とまどったのは「言葉」。ホームステイ先や学校で、言いたいことが言えず困ることがありました。これからもっと英語を勉強し、コミュニケーションがとれるようになりたいです！

## 研修で大きく成長 岩崎景子さん(久慈中3年)



「文化や習慣の同異点を見つける」というテーマを忘れずに行動。ホームステイは緊張しましたが、日がたつにつれ自分の考えを伝えられるように。研修で大きく成長できたと思います！

## 通じて良かった 木地谷泰成くん(長内中2年)



研修を通して、アメリカの生活習慣や歴史について学びました。特にホームステイが良い経験になりました。英語ができるかどうか不安でしたが、何とか通じて良かったです！

## 世界に目を向ける大切さ 桜庭実紀さん(長内中3年)



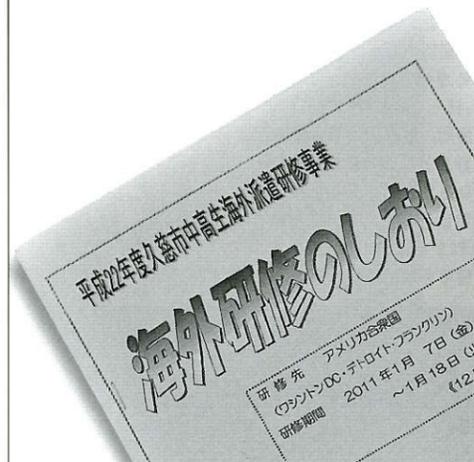
わたしが研修を通じて学んだことは「世界に目を向けること」の大切さです。アメリカだけでなく、わたしたちが住む日本。それぞれの良さを知ることができた良い研修になりました。

## 違いを学んで仲良く 藤森春香さん(大川目中3年)



学んだことは「文化の違い」です。アメリカは日本と異なる点があり、分からないこともありましたが、それを学ぶことでアメリカを知り、現地の人たちと仲良くなることができました！

# 海を渡った経験を 今後の大きな糧にして—



# 被災甚大

年末年始  
2度災害  
被害額は

# 9億円



被害の概要

12月22日-23日の被害状況	
総降水量	201㎜ (下戸鎖)
最大瞬間風速	22.2㎞
最大波高	9.5㎞
被害額	3億3,182万円 (1/24現在)
・水産関係	3億750万円
・漁港施設	1,050万円
12月30日-1月2日の被害状況	
最大瞬間風速	21.6㎞
最大波高	8.1㎞
被害額	6億2,834万円 (1/24現在)
・水産関係	5億4,889万円
・家畜等	3,377万円
・漁港施設	3,150万円
・林業関係	1,005万円
※積雪・高波・倒木などによる道路通行障がい13路線	
※山形町を中心に、12月31日から1月3日にかけて大規模停電	
被害額	計9億6,016万円

年末年始、記録的な大雨、暴風、高波、大雪が、まちに襲い掛かりました。特に水産関係の被害は甚大で、市全体の被害額は約9億6千万円(1月24日現在)に達しました。

立ち続けに、まちを襲った自然災害。12月22日9時50分、久慈市に暴風・波浪警報が発表され、22時43分には大雨警報、23日1時34分には洪水警報が追加。10日に迫る高波で海は荒れ狂い、暴風雨が容赦なく襲い掛かりました。

市は23日3時5分、災害警戒本部から対策本部に移行。被害状況の把握と情報収集に奔走しました。

**大雪で倒木停電も**

1週間後の12月30日、高波と暴風雨による被害が落ち着く間もなく、自然は再び猛威を振るいました。

30日22時42分に暴風・波浪警報が発表。31日10時16分に大雪警報が追加され、その後、暴風警報は暴風雪警報に切り替え。全警報が解除されたのは1月2日15時15分、警戒状態は4日間に及びました。

前回同様、高波や暴風雨で

まちは大荒れ。31日からは記録的な量の雪が降り続け、山形町来内では約2尺の積雪となりました。雪の重さに耐えられずに倒れた木は、道路や電線を寸断。山形町を中心に大規模な停電も発生し、多くの方が寒さと不安の中で、年末年始を過ごしました。

**全力で復旧と対策**

県は災害復旧に向けて対策本部を設置。1月7日、横沼漁港などの被害状況を調査した上野善晴副知事は「現場の声を聞きながら、早急に対応したい」と語っていました。

年末年始に見舞われた2度の災害による被害は甚大で、市の被害額は約9億6千万円(1月24日現在)。市は県などと協力し、災害復旧と今後の対策に向けて全力で取り組みます。

県は災害復旧に向けて対策本部を設置。1月7日、横沼漁港などの被害状況を調査した上野善晴副知事は「現場の声を聞きながら、早急に対応したい」と語っていました。

年末年始に見舞われた2度の災害による被害は甚大で、市の被害額は約9億6千万円(1月24日現在)。市は県などと協力し、災害復旧と今後の対策に向けて全力で取り組みます。



## 自然の猛威

- 1/増水した久慈川(12月23日)。夏井川は避難判断水位以上に
- 2/防波堤や護岸を越える高波で荒れ狂った海(12月23日)。漁港や漁船、漁具に大きな被害
- 3/土砂崩れにより2度、通行止めとなった県道野田長内線
- 4/雪の重さに耐えられず電線にもたれかかる木。12月31日からの大雪で各地で倒木多数



1/一致団結。市街地を堂々と行進する消防団員ら  
2/規律正しい動作。年の始まりに表情も引き締まります  
3/服装などを点検した観閲  
4/分列行進では、ポンプ自動車などもパレード



## 防災意気込み示す

市消防出初めに700人

消防関係者が一堂に会し、防災意識の高揚を図る市消防出初め式は1月10日、アンバーホールで開催。消防団員565人、婦人消防協力隊85人、消防署員等79人の計729人が参加し、市民の命と財産を守るため、一致団結しました。

功労者や優良団体などの表彰に続き、市消防団の門ノ澤正浪団長は「消防団は防災活動の要です。任務の重要性を理解し、消防活動に励んでください」と訓示。統監の山内隆文市長は「正月休みを返上して災害への対応をいただき、改めて感謝します。皆さんは防災と地域活動の大黒柱。市民を守るため、一層の精進を念願します」と激励しました。

アンバーホール駐車場で、団員の服装や装備などを点検した後は、市街地に移動して分列行進。水点下の風が吹き付ける中、団員らは堂々と行進し、意気込みを示しました。

昨年も、大津波警報や年末年始の暴風雪などへの対応に奔走した消防関係者。まちと市民を守る決意を新たに、今年も気合いに満ちたスタートを切りました。

## 新消防車両に意欲高まる

12月22日、消防車両交付式が防災センターで開かれ、消防団第16分団に消防ポンプ自動車、第4と第8、第10分団に小型動力ポンプ付き積載車が各1台交付されました。式終了後、消防団員約40人は早速、新しい車両の操作説明に聞き入り、より迅速な活動に向けて意欲を高めていました。



門ノ澤正浪消防団長から新しい車両の鍵を受け取る分団長

## 良い新年をと手作り門松

田中寿会(五日市一郎会長)は12月28日、市に門松を寄贈。市役所に高さ190センチ、重さ62kgの見事な門松が飾られました。五日市市長は「納得の出来。良い新年を迎えてほしい」と笑顔で話していました。

## 田中寿会

## 観光用CD制作委

## CD発表会の収益を寄付

12月22日、北三陸観光用CD制作委員会(鹿糠光男会長)は、11月に開いたPRソング「北三陸海岸」発表会の収益10万7,000円を市に寄付。鹿糠会長は「観光振興に役立てて」と思いを込めていました。

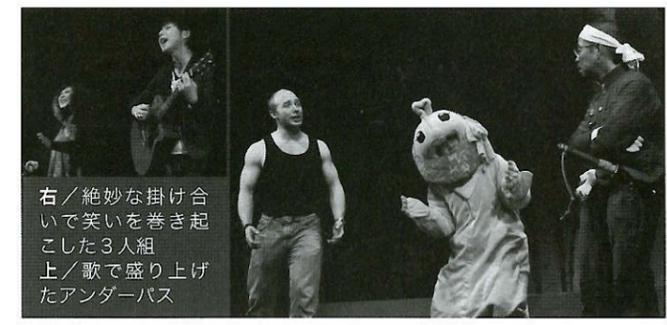
## 貴扇会

## 柔道強化に役立てて

12月28日、貴扇会(若柳一扇会主)は、「平成28年の岩手国体柔道競技に向けた選手強化に役立ててください」と、11月に開いた貴扇会チャリティー舞踊会の収益30万円を市に寄付しました。



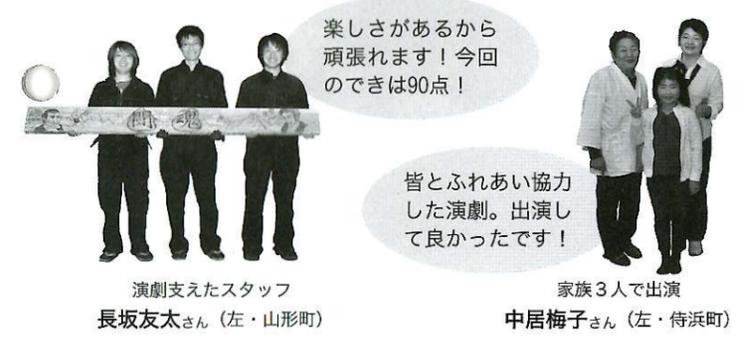
## 第4回市民おらほーる劇場「琥珀の大地」 手作りエンターテイメントに大拍手！



右／絶妙な掛け合いで笑いを巻き起こした3人組  
上／歌で盛り上げたアンダーパス

手づくりのエンターテイメントステージ！ 第4回おらほーる劇場「琥珀の大地」は12月26日、おらほーるで上演。2回公演で約500人の観客を集めました。

今回の物語は、琥珀のプロジェクトを壊したことで運命が変わってしまったカッパルが中心。琥珀のエキスを浴びて、ピンク色の恐竜に変身してしまった男性主人公が、家族やアイドル、ボーイスカウトなど多くの人の思いに触れながら、ドタバタを展開しました。



演劇支えたスタッフ  
長坂友太さん(左・山形町)

家族3人で出演  
中居梅子さん(左・侍浜町)

楽しさがあるから頑張れます！今回のときは90点！

皆とふれあい協力した演劇。出演して良かったです！

ステージでは、歌やコント、ダンスなどがテンポよく繰り広げられ、観客は大盛り上がり。最後は出演者とスタッフに大きな拍手が送られました。脚本・構成を担当した、こむろこうじさんは「久慈でなければできない演劇。お客さんも楽しんでくれたようなので成功ですね」とニコリ。嵯峨則子さん(長内町)は「演技が上手なだけでなく、みんなが役にハマっていました。笑いもあって楽しかったです」と大満足の様子でした。

## 東高がビジネスアイデアで全国大会 魅力の架け橋に意欲！



1月4日、賞状などの伝達を受け、活動に意欲をみせる生徒ら。前列左から2人目が工藤春菜さん

「高校・高専生！わがまちビジネスアイデア・コンテスト(全国信用金庫協会主催)の東北地域大会で、久慈東高(滝音幸雄校長・生徒624人)のアイデアが高く評価。東北第一候補に選出され、1月9日、9日に東京都で開かれた全国大会に出場しました。取り組んだのは、情報ビジ

ネス科2年生の8人。生産者への取材などを通して見つめ直した久慈の魅力を広く伝えるため、7月と8月に中心市街地でチャレンジショップを開いたことを地域活性化のアイデアとしてまとめました。

1月4日には、盛岡信用金庫の佐藤利久理事長が同校で盾と賞状を伝達し、「自信を持って頑張ってください」とエール。生徒を代表して工藤春菜さんが「今後も生産者と消費者の架け橋となり、魅力を伝える活動がしたいです。全国大会で他校からも学び、次につなげられるよう頑張ります」と抱負を述べました。

全国大会には28校が出場。惜しくも入賞は逃しましたが、8人の生徒は今後の活動に向けてさらに意欲を高めました。

## やまがた地域振興協議会をNPOに認証 山形の「元気」に向け 決意新た



抱負を語る橋本会長

山形町の有志が、活動の活性化と地域振興を目指して9月21日に「やまがた地域振興協議会(橋本實会長)」を設立。申請を受けた市は、同協議会を市内10番目の特定非営利活動法人(NPO法人)に認証し、12月28日、市役所で認証書交付式を行いました。

山内市長は「協働のまちづくりに理解をいただき、山形町を盛り上げるため立ち上がった皆さんに感謝します。それぞれの方が進めてきた活動を礎とし、活発な活動を期待します」と激励しました。

橋本会長は「認証いただき、山形がますます元気になるよう、決意を新たにしたいところ



交付を終え、記念写真。表情にも意欲がみなぎります

です。人を基本とし、明るく活力に満ちた暮らしやすさを目指してまいります」と力を込めました。

現在、同協議会の会員は、地元有志の47人。設立後、まずは地域の課題を掘り起こそうと、昨年12月から1月にかけて町内8小学校区で地域懇談会を開催しました。

今後は、地域の課題解決に向けた活動を展開するほか、子どもたちの教育支援や、学校統合後の跡地利用などについても検討を重ねていく予定です。

## 市と川貫・八日町町内会が協定を締結 支え合い活動の推進を



調印を終え、気持ちを新たに両町町内会の出席者

川貫町内会(坂本治雄会長)と八日町町内会(田表一夫会長)は1月12日、災害時要援護者名簿の共有について、市と個人情報保護に関する協定を締結しました。

協定書への調印を終え、山内隆文市長は「要援護者の支

援は重要です。行政と皆さんが手を携えることで、取り組みの可能性は飛躍的に拡大します。今後も力添えをお願いします」と感謝しました。

坂本会長は「名簿の共有により、支え合い活動が進展すると確信。町民一体となって全力を尽くします」と抱負を。田表会長は「名簿の有効活用に向けて組織体制を確立し、町内の高齢化対策も考えながら活動していきます」と意欲をにじませました。

同名簿は、避難に助けが必要な一人暮らし高齢者や障がい者などのうち、登録希望者の情報をまとめたもの。今回で協定を締結したのは5町内会になりました。地域の支え合い活動の推進に向け、さらなる広がりが期待されます。

## 内間木洞 氷筍観察会

2/11(祝) 10:30~15:00  
■内間木洞

※気候により中止になる場合があります。ご了承ください

自然がつくり出す神秘の造形をぜひご覧ください。

- ▶入洞受付...10:30~14:00
- ▶持ち物等...汚れても良い服装、長靴、軍手、懐中電灯など
- ▶送迎バス...各便先着20人・事前に予約が必要です
- ①おらほーる発着便 行き9:00・帰り11:30
- ②アンバーホール発着便 行き9:00・帰り11:30

☎おらほーる ☎72-3711

## 地デジ受信機

※イメージ写真

## 地デジ対応チューナーの 給付対象拡大

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送を視聴できない方に、地デジを受信するための簡易チューナー(1台)を無償で給付しています。

今回、給付対象が拡大されました。詳しくは下記までお問い合わせください。

▶対象...【これまで対象】NHK放送受信料の免除世帯(生活保護世帯や障がい者非課税世帯など)  
【拡大で追加された対象】世帯全員が市民税非課税の世帯

☎総務省地デジチューナー支援実施センター ☎0570-033840

# ゴミ減量52%



このままじゃ  
ダメだ！

年間約3億円をゴミ処理に使っている久慈市。大切なお金を節約するにはゴミの減量が必要です。

家庭や職場、学校など、みんなでゴミ減量に取り組んでみませんか。

園生活環境課 ☎54-8003

## CHALLENGE どれだけ減らせるか挑戦！

### 2月はゴミ減量月間

処理費用の削減とゴミ減量は、市の重要な課題の一つです。昨年2月の市全体のゴミ排出量892tから、今年2月どれだけ減らすことができるのか。まずはキャンペーン期間である1カ月間、減量に取り組んでみましょう。 ※結果は広報4月1日号に掲載予定

### 減量の「カギ」は生ゴミ！

- 1 水気をきる**  
捨てる前に一絞り。野菜の皮は洗う前にむく
- 2 使いきる**  
買い過ぎない。食材を無駄なく調理
- 3 食べきる**  
作り過ぎない。余ったらお弁当や冷凍保存に

### POINT 水分半減で1日160㍑減！

わたしたちが出すゴミの40%は生ゴミです。さらに、生ゴミの80%は水分なので、しっかりと水切りをして生ゴミの水分を半減すれば、160㍑もゴミを減量することができます。

① 1人1日の排出量1㍑×生ゴミの割合40% = 400㍑  
 ② 1人1日の生ゴミ400㍑×水分の割合80% = 320㍑  
 ③ 1人1日の水分量320㍑を半減すれば…160㍑の減！

## 実践してます！ ゴミ減量！

ゴミを減量するカギとなる生ゴミ。夏井町の下野さん一家では、野菜などの食べ物を大切に、家族全員でゴミ減量を実践しています。

大切なのは  
食べ物を無駄にしない  
気持ち！

うちでは生ゴミを出したことはありません。料理で出た野菜の切りくずなどは発酵させて、たい肥として使っています。

うちで食べる野菜や米は自分たちで育てたもの。食べ残すのはもったいないですし、母や妻も料理の仕方を工夫してくれています。

子どもたちには「作った人の気持ちになって食べて」と教えています。弁当を残して帰ってきたことはないですね。きっと「食べ物を無駄にしない」ことの大切さが伝わっているのだと思います。

ゴミを減らしていくためにも、「食べ物を無駄にしない気持ち」が必要かもしれませんね。（下野智さん）



下野さん一家  
※後列左から2人目が智さん



下野さんのお宅では「コンポスター」を利用して、生ゴミをたい肥化しています

減量のポイントになるのは総排出量の40%を占める「生ゴミ」です。生ゴミは約80%が水分なので、捨てる前にしっかりと水切りをすれば、大幅にゴミを減量できます。（上記参照）

また庭や畑をお持ちの方は、積極的に生ゴミを土に

## 電動生ゴミ処理機の購入に補助金！



生ゴミの「くさい」「重い」を解消する便利な「家庭用電動生ゴミ処理機」の購入を補助しています。申請は購入前に必要です。まずはお問い合わせください。

▶対象…市税を滞納していない市民  
 ▶補助率…購入額の1/3(上限2万円)  
 園生活環境課 ☎54-8003

←処理機を使うと、ハクサイ半分がここまで減量！

**みんなの力で減量**

ゴミ処理費用を削減するためには、ゴミの減量が必要です。家庭や職場、学校などでの皆さん一人一人の取り組みが欠かせません。

2月は、「ゴミ減量月間（上記参照）」を実施します。平成22年2月の市全体のゴミ排出量は892tでした。皆さんの取り組みによって、2月分の排出量を昨年よりどれだけ減らせるか比較します。

返してあげましょう。家庭用電動生ゴミ処理機の購入補助制度（左）もありますので、ぜひ活用ください。ゴミを減らして大切なお金も節約。みんなの力を合わせ、より暮らしやすいまちをつくっていきましょう。

**もったいない3億**

「いらないゴミ」でも処理をするには「大切なお金」が掛かる！

久慈市ではゴミを処理するために、年間約3億円もお金を使っています。このお金は、皆さんから納めていただいた税金などが基になっています。

もし3億円が自由に使えたら…。道路や福祉、教育など、さまざまな事業に生かすことができます。わたしたちも、もっと暮らしやすくなるはずですよ。

しかし、それだけ大きな3億円が「いらないゴミ」の処理に使われている久慈市の現実。ゴミに関しては、よく「捨てるのはもったいない」

### 平成21年度 1人1日当たりのゴミ排出量

順位	市町村名	排出量
1	矢巾町	1,178㍑
5	久慈市	998㍑
35	藤沢町	529㍑

※全35市町村。多い順

**1人が毎日1㍑も**

久慈市はゴミの排出量が多いまちです。平成21年度の1人1日当たりのゴミ排出量は998㍑。県内市町村の中では5番目に多く、最も少ない藤沢町の排出量（529㍑）の2倍近くになっています。（左表）

「いらないゴミ」などと言われますが、毎年、ゴミの処理にたくさんのお金を使っていること自体が「もったいない現実」の一つなのです。



## 所得税の 確定申告 税務署で

所得税の確定申告が必要な方は、平成22年中に所得控除額を超える事業や不動産などによる所得があった方です。

作成した確定申告書などは、久慈税務署に郵送または直接窓口へ提出してください。

郵送の場合で、申告書(控)に税務署受付日付印が必要な方は、申告書(控)と切手をはった返信用封筒を同封してください。

※所得税の確定申告をした方は、市県民税、事業税の申告は不要です

久慈税務署 ☎53-4161



## ネットで 簡単便利 e-Tax

確定申告は、国税電子申告・納税システム「e-Tax」の利用をお勧めします。

確定申告の期間中、24時間受け付けていて便利！操作方法も簡単です。

▶必要なもの…①申告者の電子証明書(電子証明付きの住基カードなど) ②申告に必要な書類

☎ e-Tax について…久慈税務署 ☎53-4161

☎住基カードについて…市民課 ☎52-2117

い-たっくす  
e-Tax  
市役所にも  
設置します

3.1<sup>火</sup> ▶ 8<sup>火</sup>  
平日 8:45 ~ 17:00

上記期間、税務課(市役所1階)にe-Taxコーナーを設置。設置したパソコンは自由にご利用いただけます。また予約いただければ、職員が操作方法を説明します。  
☎税務課 ☎52-2114



## 相談日程 と会場

申告相談は税務課(市役所1階)でのほか、下記のとおり巡回申告相談も行います。申告期限が近づくと会場が大変込み合います。早めの申告をお勧めします。

### 市役所での申告受付相談

■日時…2/16(水)~3/15(火)の平日 8:45~17:00

※月曜日は18時まで相談を受け付けます

※3/13(日)は相談を受け付けます

■会場…税務課(市役所1階)

### 各地区での巡回申告相談

対象地区にお住まいの方以外は受け付けかねます。ご注意ください。 ※会場名の「C」はセンターの略

月日	時間	対象	会場
2/10(木)	10:00~12:00	来内	来内地区集落C
	14:00~16:30	霜畑	霜畑地区営農研修館
14(月)	10:00~12:00	荷軽部	荷軽部地区集落C
	14:00~16:30	日野沢	日野沢公民館
15(火)	10:00~12:00	戸呂町	戸呂町地区集落C
	14:00~16:30	繋	つなぎ地区消防コミュニティC
17(木)	10:00~14:00	小国	小国地区多目的集会施設
18(金)	10:00~14:00	関	霜畑地区コミュニティC
19(土)	9:30~14:00	宇部	宇部支所
	9:30~14:00	待浜	待浜支所
21(月)	9:30~14:00	久喜・三崎	久喜公民館
22(火)	9:30~14:00	大川目	大川目公民館
23(水)	10:00~12:00	山根	山根支所
	14:00~17:00	小久慈	小久慈公民館
24(木)	9:30~14:00	夏井	夏井公民館
25(金)	9:30~14:00	川井上・中	山形総合センター
26(土)	9:30~14:00	川井中・下	山形総合センター
27(日)	10:00~15:00	山形町全域	山形総合センター

### 申告相談に持参するもの

■印鑑

■預金通帳…還付金の受け取りや振り替えに使用します。口座番号などを書いたメモでも構いません

■所得計算に必要なもの

①営業・農業・漁業・不動産などの所得…売上帳、仕入帳、経費帳、支払伝票、領収書などを基に作成した収支内訳書

②給与や公的年金の所得…源泉徴収票や給与明細書など

■所得控除に必要なもの…平成22年中に支払った社会保険料(国保、年金、介護保険料、後期高齢者医療保険料など)や医療費、生命保険料、損害保険料などの支払いを証明するもの

便利です!  
申告の手引き

申告書の書き方を分かりやすく説明した「申告の手引き」を市役所、山形総合支所、各支所、各公民館に備えています。

また、申告書は送付しますので、必要な方はお問い合わせください。

# 申告受付相談

税の申告は忘れずに、お早めに ☎税務課 ☎52-2114

2.16<sup>水</sup> ▶ 3.15<sup>火</sup>

平成23年度の市県民税、国民健康保険税などの申告受付相談が始まります。必要な書類を準備して忘れずに申告してください。

### 申告が必要な方

市県民税、国民健康保険税の申告が必要な方は、平成23年1月1日現在、本市に住所があり、平成22年中に給与(パート収入を含む)や営業、農業、不動産、配当などの所得があった方です。

青色申告の場合は、久慈税務署で申告してください。

■収入がなくても必要な方

平成22年に収入がない方も、扶養親族になっていない方や、他市町村に居住する家族などの扶養親族になっている方などは申告が必要です。

■住所がなくても必要な方

市内に住所がない方でも家屋敷課税の対象になる方は申告が必要です。

### 控除になる対象

■市県民税の住宅ローン控除

控除の適用を初めて受ける方は、所得税の確定申告が必要です。適用を受けるのが2年目以降の方は、会社で行う年末調整または所得税の確定申告書に、居住開始年月など

所定の記載をしてください。

ただし平成11~18年に入居した方で、退職所得・山林所得があった方と、所得税で平均課税の適用を受けている方は、市への申告が必要になることがあります。

☎税務課 ☎52-2114

■国民年金保険料などの控除

平成22年中に納めた国民年金保険料は全額「社会保険料控除」の対象になります。申告の際は社会保険料控除証明書(平成22年11月か23年2月に送付)等をお持ちください。

65歳以上の年金受給者本人の介護保険料控除については、「平成22年分の年金等の源泉徴収票」を申告の際にお持ちください。

☎控除証明書専用ダイヤル ☎0570-070-117

☎二戸年金事務所 ☎0195-23-4111

■障がい者の控除

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は控除の対象です。手帳をお持ちでない方でも65歳以上で介護認定を受けている方は、障がい者控除を受けられる場合があります。こ

### 申告しないと大変

国民健康保険に加入されている方は、申告をしなければ国民健康保険税の軽減などの適用が受けられません。

市営住宅の入居、児童扶養手当、保育園の入園、公的年金や事業資金の融資など、各申請には税の証明書が必要です。申告をしないと、これらに必要な税の証明書の交付が受けられない場合があります。

### 国保税 納付に困ったら相談を

国民健康保険は、加入者(被保険者)が国民健康保険税を出し合って運営されている医療制度です。

特別な事情がなく国保税を滞納している場合は、短期間の保険証を交付したり、医療費全額を負担いただくなどの措置を取ることになります。分納もできますので、納付が困難な場合はお早めにご相談ください。

☎市民課 ☎52-2118 ・ 収納対策課 ☎52-2368



広報リポーターの突撃取材!



「いらっしゃいませ〜」笑顔と元気で呼び込み

高校生の声  
街なか響く

ヤングボランティア SEED は1月23日、北三陸くじ冬の市に合わせて「ヤンボラ市」を開き、各商店の情報をまとめた地図「くじっ」を披露したほか、模擬店なども開催。街なかには高校生メンバーの元気な声が響きわたりました。(小倉利之リポーター)



夏井・平山小児童による夏井大梵天神楽

小正月行事  
夏井で交流

夏井公民館は1月9日、夏井町振興協議会などの協力の下、世代間交流事業「夏井の小正月行事」を開催。園児から高齢者まで120人が、もちつき、ミズキ飾り、カルタで交流。夏井大梵天神楽も披露され、終日盛り上がりました。(梅沢政隆リポーター)

読み書き日課 元気100歳

小向勝次郎さんが100歳に

小向勝次郎さん(侍浜町)の100歳長寿祝いは12月28日、小規模多機能ホームときわ苑で開かれました。山内隆文市長から祝い状を受けた小向さんは「温かい言葉をいただきうれしい。ありがとうございます」と大きな声であいさつ。家族や施設職員なども大きな拍手で小向さんの長寿を祝いました。

家族を代表して花束を贈った、ひ孫の森岩泰地くん(久慈中1年)と寿々ちゃん(久慈小5年)は「元気で読み書きが得意なひいおじいちゃんはすごい!ずっと長生きしてほしいです」と願っていました。

75歳まで漁師だった小向さん。新聞を読み、日記をつけることが日課で、まだまだ元気いっぱいです。



祝い状を受け取る小向勝次郎さん(右)



- 1/懐かしい写真や手紙に子ども大人も大喜び
- 2/スコップで発掘作業
- 3/開封にドキドキ
- 4/中には手紙や新聞が
- 5/10年前の夢を披露した中山秀人くん(左)



10年前の”夢”に再会

小久慈保でタイムカプセル発掘

2011年1月11日11時。「1」続きのこの日、小久慈保育園に元園児や保護者など約50人が集まり、10年前に自分の夢などを書いて埋めたタイムカプセルを発掘しました。

はじめに野田口茂市健康福祉部長が「今日は10年前の自分に会う日です。再会した夢を今後さらに大きくして行ってください」とあいさつ。当時の園長の桑田碩子さんは「今年がうさぎ年。10年、20年先のNo.1を目指して大きく飛び跳ねてください」と、中高生に成長した元園児に期待を込めました。

タイムカプセルは中高生が交代で発掘。中から手紙などが取り出されると、一斉に大きな歓声が。自分の手紙との再会に、大人も子どもも目を輝かせて喜んでいました。

「バイク屋さんになりたい」という10年前の夢を披露した中山秀人くん(長内中3年)は「手紙を見て、改めて夢の大切さを感じました。まずは高校受験を頑張ります」と気持ちを新たにしていました。

夫婦で語り 一緒に夢を  
男女共同参画セミナー

久慈市男女共同参画セミナーは1月21日、市役所で開催。約130人が熱心に、話に耳を傾けました。

講演で、りんご畑の中にカフェを開く松本直子さん(盛岡市)は「夫婦や男女が語り、一緒に夢を持つことが大切」と熱弁。農業から家族の協力を考えるパネルディスカッションも開かれました。



家族の支え合いについて熱く語った松本さん



お菓子をもらい、喜び子どもたち

元気に声掛けお宅訪問  
湊地区で「ほろろん」

1月15日、湊地区で小正月行事「ほろろん」が行われました。

子ども3〜5人ほどが1組となって各家庭を回り、玄関で「ほろろん〜ん!」と元気に声掛け。訪問先でお菓子をもらうたびに皆、笑顔で喜んでいました。厳しい寒さも子どもたちには無関係。町内には何度も元気な声が響きました。

大雪に輝く児童の目  
キャンプ冬の陣

バッテリーキャンプ冬の陣は1月5〜8日の4日間、内間木キャンプ場周辺で開催。市内の小学生6人が雪と自然に触れました。

メインのイグルー(雪の家)づくりは児童の活躍で予定より早く完成。西館幸史朗くん(久慈小5年)は「雪がいっぱいで本当に楽しい!」と目を輝かせていました。



雪のブロックづくりに励む児童



必死の表情でカルタに手を伸ばす児童

手を伸ばして防災復習  
防災カルタ大会

防災カルタ大会(久慈青年会議所主催)は12月21日、学童保育所みつばちの家で開催。児童約30人が、地震や津波などの防災知識が盛り込まれたカルタを目指し、必死に手を伸ばしました。

岩城祐聖くん(久慈小5年)は「避難方法をカルタで復習できました」と笑顔を広げていました。

家内安全を願って訪問  
久慈でなもみ復活

観光ボランティア団体のチームけさった(宇部松蔵会長)は1月15日、昔は市内でも行われていたという小正月行事「なもみ」を出張公演で復活させました。

なもみにふんした会員が各家庭や公民館などを訪問。子どもを脅した後は優しく頭をなで、家内安全と無病息災を願っていました。



パーティーにも飛び入り。迫力のなもみ



初点検に表情を引き締める交通指導員

交通安全の推進に決意  
交通指導隊初点検式

市交通指導隊初点検式は1月5日、市役所で実施。指導員19人が出席し、山内隆文市長や中村一雄久慈警察署長から、服装や笛などの点検を受けました。

熊谷好行隊長は「死亡事故や飲酒運転の撲滅に努めます」と決意表明。各指導員と共に交通安全の推進に向け気を引き締めました。

市の保健師や栄養士が、健康に関する情報をお届けするコーナーです。皆さんの元気と健康づくりにお役立てください。

### 子育て支援センターだより

- 2月の予定 ■
- ◎ 2/2(水) 赤ちゃんサロン 13:30~15:30  
内容「乳幼児期に大切な母親のかかわり」  
※お子さんの年齢に関係なく参加できます
  - ◎ 2/3(木) 豆まき会 10:30~11:30
  - ◎ 2/10(木) うさこちゃんの部屋 11:00~
  - ◎ 2/16(水) 絵本の読み聞かせ 10:30~
  - ◎ 2/21(月) 育児講座 10:00~12:00  
内容「ひなまつり料理に挑戦しよう」  
※参加費500円・定員12人(託児あります)
  - ◎ 2/23(水) ひよこ教室 10:30~11:30
  - ◎ 2/25(金) あそびの教室 10:00~17:00
  - ◎ 2/28(月) 園庭開放・小久慈保育園 10:00~11:30

■ 利用案内 (☎52-3210) ■

- 対象…就学前の児童とその保護者 ● 利用時間…月~金 曜日 8時30分~17時 (土曜日は 8時30分~13時30分) ● お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日 ● 利用料…無料

### 図書館だより

#### 2月のオススメ図書

《市立図書館》 「雪の手紙」  
片平孝/写真・文・構成 青菁社  
深々と降る雪は水の仮の姿で、刻一刻と姿、形を変えていきます。それは一期一会の美しさ。雪の結晶、雪輪、風雪模様、霜柱など雪と氷のさまざまな造形を集めた写真集です。

《山形図書館》 「ペネロペてづくりレシピ」  
トモコ・ガルシア/作 岩崎書店  
コアラのキャラクター「ペネロペ」の絵本の中から生まれた、かわいい小物やお菓子、お弁当の作り方を季節ごとに紹介した本です。親子で一緒に手作りに挑戦してみませんか。

■ 2月の休館日…2/7(月)、11(金・祝)、14(月)、21(月)、28(月)

《市立図書館 ☎53-4605》

- 開館…9~18時 (土日は17時まで)
- 図書館えいがかい…2/12(土)10:00~21:00
- チビッコの部屋…①2/12(土)②26(土)14:00~
- 手しごと本展…日曜大工など「モノづくり」に関する本を展示・貸し出し 2/2(水)~20(日)
- 読みたいくなる遠野物語展…2/4(金)~13(日)

《山形図書館 ☎72-3711》

- 開館…10~18時
- チョコレートと手作りお菓子の本展…バレンタインデーにちなみ展示・貸し出し 2/1(火)~20(日)

### 元気応援だより



小野寺理恵保健師

#### 病引き起こす たばこの害

強い依存性！ 病院でも禁煙相談

問 保健推進課 ☎61-3315

「禁煙に挑戦しても、うまくいかない方は意思が弱いのではないかと、ニコチンのもつ強い依存性が原因です。ニコチン依存症は、治療が必要な病気です。保険が適用される禁煙外来のある病院もありますので、お医者さんに相談するのも一つの方法です。」

吸う人はもちろん、たばこは周りの人にも悪影響を及ぼします。たばこから出る副流煙は、直接吸う主流煙よりも多くの有害物質が含まれているのです。

「禁煙に挑戦しても、うまくいかない方は意思が弱いのではないかと、ニコチンのもつ強い依存性が原因です。ニコチン依存症は、治療が必要な病気です。保険が適用される禁煙外来のある病院もありますので、お医者さんに相談するのも一つの方法です。」

最後に未成年の方へ。ニコチンには麻薬と同じくらい強い依存性があります。たばこの害を知り、20歳になっても吸わない選択をしてほしいと思います。

### 仲間のWA!



教え合いながら楽しく手作り

作品づくりで ストレスも解消!

リフォーム・パッチワーク班 (工藤真里子代表・16人)

「教え合って楽しく作品づくり。おしゃべりをしながらストレス解消していますよ」と班代表の工藤真里子さん。毎週金曜日10時から市総合福祉センターで活動。会場には毎回、にぎやかな声が響きます。興味のある方、まず見学からいかがですか。

市内で元気に活動している団体やサークルなどを紹介するコーナーです。皆さんも活動に参加して仲間の輪を広げてみませんか?

ぬいぐるみにポーチなど、作品はさまざま。どれも見事な出来栄です



### 経験した大舞台 駅伝続け、高校でもまた走りたい—



全国女子駅伝の県代表メンバー 木戸口 桃子さん (長内中3年)

#### 全国の大舞台で力走

1月16日、京都府で開かれた第29回全国都道府県対抗女子駅伝の本県代表メンバーに選ばれた木戸口桃子さん(長内中3年)。初出場の緊張をはねのけ、全国の俊足ランナーを相手に力走しました。

「あつという間の3分。良い経験になりましたし、1秒の大切さが分かりました。」

しかし全国の壁は厚く、47都道府県中、本県は43位。初の大舞台は悔しさが残る結果となりました。

小さいころから走ることが好きだったという木戸口さん。小学生のころは短距離が得意でしたが、中学では1500

メートルの選手に選ばれ、長距離を練習するようになりました。「長距離は練習した分、速くなれます。どんどん長距離が好きになっていきました。」

1年生で駅伝メンバーにも選ばれた木戸口さんは、バスケットボール部として活動しながら毎朝ランニング。2年生からは走る距離を10キロまで伸ばし、県中学校駅伝で区間賞を取るまでになりました。

仲間や先生がいたから

昨年2月、順調に力を付けてきた木戸口さんにブレーキ。左足甲を疲労骨折し、練習できない日々が続きました。

「タイムも落ちてしまい、悔しい思いをしました。それがバネになりました。」

復帰後の木戸口さんを支え、



全国女子駅伝で、第8区を力走する木戸口さん(京都岩手県人会提供)

Profile  
きどぐち・ももこ/小久慈小学校卒。長距離は、バスケットボール部に所属しながら毎朝練習。県中学校駅伝大会では長内中アンカーとして2年で区間賞、3年で区間新を記録。好きな教科は理科。両親と兄の4人家族。

刺激したのは同じ駅伝メンバー。「県大会優勝」を合言葉に励まし合い、厳しい練習を乗り越えてきました。「一緒に泣いたり、笑ったりできる仲間や先生がいたから頑張れました。みんなと走ることができて本当に良かったです。」

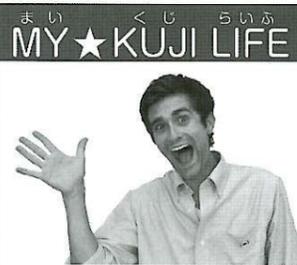
中学3年は進路を選択する時。大好きな仲間も、それぞれの道に進もうとしています。

「駅伝を続け、また全国で走りたいです。みんなと別々の高校生活は不安もありますが、高校でも走ることを頑張ります。」

別れと出会いの春は目標へのスタートライン。再び全国の舞台を目指し、木戸口さんは走り続けます。

### 太鼓の音と動きは感動もの!

音楽家として、世界各国の音楽に強い興味があります。以前は、日本の楽器や音楽をあまり知りませんでしたが、久慈に来てから、コンサートなどで日本の音楽を聴く機会が多くなりました。



ザック・ブランナムさん

一番印象的なのは太鼓。アメリカにあるドラムチームと違うのは、太鼓に日本文化との深いつながりがある点です。日本の祭りで必ず聴く太鼓。太鼓の音や、たたく人の動作は本当に感動ものです!

打楽器にも興味があるので、日本にいる間、僕も太鼓をやってみようかな?

市内の小・中学校で英語を教えている市の英語指導助手の皆さんが、久慈市で生活して感じたことなどを紹介するコーナーです。



# 感謝忘れず一歩前

成人者を代表し、誓いの言葉を読み上げる上村雅貴さん(左)と山口真生さん



広報くじ 2月1日号 No.118



植物油、大豆インキを使用しています

再生紙を使用しています



**上** 代表の2人に成人の証を授与  
式典後は恩師のメッセージを上映  
**中** 中村一雄久慈警察署長に飲酒運転  
追放誓約書を提出する林崎伸治さん(左)

久慈市成人式は1月9日、アンバーホールで開催。本年度、成人を迎える473人中386人が出席し、人生の新たな一歩を踏み出しました。山内隆文市長は式辞で「一人一人、目標を高く掲げ、人生を歩んでください」と期待。続いて鹿糠敏文教育委員会委員長から、田端秀平さんと佐藤渚さんに成人の証が授与されました。誓いの言葉では、上村雅貴さんと山口真生さんが「この日の感激を忘れず、何事にも果敢に挑戦していきます」と力強く述べました。

式終了後は、会場で募った186人分の飲酒運転追放誓約書を久慈警察署に提出。成人者として飲酒運転の撲滅も固く誓いました。

## 平成22年度久慈市成人式

# 力強く挑戦誓う

**責任をもって**  
歯科助手の研修中。久々に友達や先生に会えてうれしい！責任をもって生活も仕事も頑張りたいです！



下館安奈さん (山形町)

### INTERVIEW

**いつか会社を**  
今は埼玉県でとび職。やっぱり地元は良い！仕事を頑張り、いつか自分で会社を切り盛りしたいです！



野場星也さん (宇部町)



## 編集後記

▶年末年始の災害。大変な状況で新年を迎えた方も多かったと思います。この冬、もう起きないことを切に願います▶18分に掲載しましたが、岩手県市町村広報コンクールで、組写真で第1位、広報紙で奨励賞をいただきました▶いつも取材にご協力いただいている皆さんのおかげです！諸事情により全国広報コンクールには出品できませんが、受賞を1つの励みにして今後も頑張ります！！▶実は1月にもう一つ「1位」をゲット。それはバナナサイダーの早飲みです▶ノリで挑戦して予想外の能力を発見。あまり自慢できるものではありませんが…これを機に早飲み技術も磨こうかな？(ハ重桜)



ひな 馬内陽菜ちゃん(3歳)  
馬内のりさんの孫 (小久慈町)

いとうたろう 田中祥太郎くん (5カ月)  
田中吉一さんの孫(大川目町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。